

分類番号	R3-07	教科・領域等	音楽	
教材・ 教具名	AC100V 打楽器用ピエゾスイッチインター フェース	制作者名	小山内博仁	
		所属名	むつ養護学校	

1 教材・教具のねらい (対象含む)

音楽の授業で、打楽器を使った器楽演奏を行った。太鼓やタンバリンの手を打つ場所が定まらない様子を見て、打楽器演奏にもっと注目して意識的に打つことができるよう、「打つと光る」と注目して楽しめるのではないかと考えた。

2 使い方 (写真を含めて)

センサー (ピエゾ素子部分) を楽器の打面近くにテープ等で貼り付ける。
マイコン (Arduino) でセンサーからの入力を処理し、トリガとして 100V リレーを動作させている。
マイコン動作に 9V 電池を使用する。本体部分も楽器にテープ等で留めた方が扱いやすい。
電球等と接続し、マイコンの電源を入れると、「叩くと光る」楽器となる。
学習発表会でも使用し、効果的な演出ができた。



正面



背面

3 その他 (工夫点、留意事項等)

ピエゾ素子を別のセンサーに変えることで児童の実態に合った演奏方法や楽器に対応できると思う。